

第 194 回ペン川柳（お題＝傘） 令和 2 年 7 月 27 日

世話人：塚田 實（^だ ^だ 傘々）

（*印は今月の互選五句、*は最優秀句）

1. 間男が昼顔色の傘をさし（明迷＝八木） → 2 票
「昼顔」と言えば、カトリーヌ・ドヌーヴの映画と上戸彩のテレビドラマを思い出しますね。作者は後者をイメージしているようです。「平日昼顔妻」をめぐる話題は一世を風靡しました。昼顔は昼間淡紅色の花をつけ、夕方にははしぼむそうです。
- * 2. 傘杖に色街急ぐ八十路かな（酩帝＝曾山） → 5 票
80歳になっても色の道を求める様子が、よく伝わってきます。傘を杖に使っているようですから、歩き方も覚束ないのでしょうか。でも色を求める心は元気なのですね。優秀句に選ばれました。
3. 雨あがり畳んだ傘は杖に化け（酔雅＝西川） → 1 票
これも先句に続き、傘が杖に化ける句ですが、高齢者でなくても雨が上がると、ついつい傘を杖替わりに使ってしまう。
- * 4. 男にも日傘差させる温暖化（零門＝松谷） → 5 票
最近猛暑が続いています。日傘は夏の女性を引き立たせるものでしたが、熱暑では男性も欲しくなります。地球温暖化に結び付けるとは、上手い発想ですね。優秀句に選ばれました。
5. 忘れぬ相合傘で触れる胸（傘々＝塚田） → 2 票
多くの相合傘句の一つです。濡れないように身体を寄せると、自然に腕と胸が触れ合います。そのときの新鮮な驚きを詠みましたが、少々うぶですね。もう少し大人の雰囲気欲しかったところです。
6. ボルトンめ傘でゆすれとけしかける（井波＝稲宮） → 0 票
トランプ大統領はボルトン氏を通じて、米軍日本駐留経費の負担増を求めてきたそうです。大統領は「応じなければ核の傘をカードに使え」とボルトン氏に伝えたとの噂もありました。日本の安全保障上の大問題ですが、本句に支持が得られなかったのは残念です。
7. おかめでも美人に見える傘の内（損得＝細谷） → 3 票
女性が美しく見える「夜目遠目傘の内」を詠んだ句が沢山ありました。そのため票が割れてしまったかもしれません。他の句はマスクを絡ませた句でしたが、本句は「おかめでも美人に見える」と素直に詠みました。
- * 8. 傘させば巧い具合にディスタンス（だし＝大野） → 6 票
新型コロナウイルスと共生する新しい生活様式として、三密を避けるためソーシャルディスタンスを守ることが重要だと言われています。お互い傘をさした距離が丁度良いそうです。コロナ禍での良いタイミングでの川柳ですね。優秀句に選ばれました。

9. 手をつなぎ相合い傘での半世紀 (我々好=浜田) → 0票

半世紀も相合傘が続くとは優しい夫婦像が目浮かぶようですね。半世紀ならば、金婚式ですね。あまりにも素晴らしい夫婦に川柳子は嫉妬したのでしょうか。票が集まりませんでした。

10. 傘忘れ名曲残すバカラック (晃二=安藤) → 2票

「雨にぬれても(Raindrops Keep Fallin' on My head)」は西部劇『明日に向かって撃て!』の挿入歌で、バート・バカラックの作曲です。とても明るい曲で、聴けばみんな知っていると思いますよ。

11. 湯島では相合傘の心意気 (安兵衛=山縣) → 1票

作者は『湯島の白梅』の「湯島通れば思い出す お蔦主税の心意気」から発想したそうです。『婦系図 湯島の白梅』は鶴田浩二と山本富士子主演の映画でした。「切れるの別れるのって、そんなことは芸者の時に云うものよ。今の私にや死ねと云ってください」は有名な台詞です。

* 12. 傘差して肩を半分濡らす愛 (酔深=平尾) → 7票

情景が思い浮かびますね。二人の愛情がそっと伝わってくる素晴らしい句で、多くの川柳子の賛同を得、最優秀句に選ばれました。「肩を半分濡らす」が効いていますね。酔深さんの傑作です。

* 13. 夜目遠目傘にマスクの美男美女 (火酒=三春) → 5票

「夜目遠目」句の中で、この句が一番支持を得ました。「傘の内」は女性だけでなく、男性も美男にするようです。火酒さんは項番26も5票の投票があり、どちらを優秀句にするか聞いたところ、男女の余韻のあるこちらの句を選びました。

14. あちこちで綻び(ほころび)目立つ自公傘 (拿々=塚田) → 2票

最近では特別定額給付金を巡る問題や、憲法に関する議論など、自民党と公明党に様々な軋轢が生じています。公明党は連立離脱をちらつかせることもありました。野党の連携もなかなかうまく行かないようです。与野党とももっと国民に夢を持たせる政治を期待したいですね。

15. 相合傘ビニル傘では風情無し (不言=岩崎) → 1票

最近ではビニル傘が大はやりです。不言さんの言う通り、ビニル傘では風情に欠けますね。ビニル傘はそんなに高くないのですから、彼女にも一本買ってあげるのが優しいですね。相合傘にはなりません。

16. 良かったな相合い傘も今は夢 (損得=細谷) → 0票

昔はデートで相合い傘も楽しかったけれども、今や遠い過去の話になってしまったのでしょうか。長い年月を経て、久し振りに相合い傘を試すと夢が戻るかも知れませんよ。

17. 廃絶を断る方便核の傘 (晃二=安藤) → 2票

核廃絶を求める「核兵器禁止条約」に日本は賛成していません。日本はアメリカの核の傘に守られているからとの政府見解です。難しい問題です。広島と長崎、被爆体験都市の願いは続きます。

18. 傘分ける昔はラブで今介護 (酔雅=西川) → 4票
加齢とともに介護も必要になってきたのでしょうか。介護も愛情をもって努力すれば、新しいラブが復活するかもしれませんね。優秀句に今一つ届きませんでした。
19. 相合の思い出残し傘破れ (酩帝=曾山) → 2票
相合傘の甘い思い出に亀裂が生じてきたのでしょうか。「傘破れ」はちょっと寂しいですね。作者の夫婦観は最近少し厳しめです。
20. オレ傘寿まだまだ元気百寿 (ももじゅ) 超え (零門=松谷) → 2票
傘寿おめでとうございます。意欲に満ち、太極拳で鍛えている作者は後20年は大丈夫ですよ。白寿も百寿もお祝いしましょう。そのためには祝う我々も健康に配慮しなくてははいけませんね。
21. わけありの相合傘もいまはダメ (明迷=八木) → 0票
「わけあり」だから、何か特別な事情がありそうですね。不倫の匂いが漂います。今は濃厚接触には気を付けなければなりません。票が集まらなかったのは残念です。
22. 夜目遠目コロナマスクと傘の内 (我々好=浜田) → 1票
項番13の「夜目遠目」句と似ていますが、票は13番に集まりました。男女二人か一人の美女かの違いです。マスクにも様々なファッションがでてきて、新しい生活様式の一つになっていますね。
23. 可愛さを傘に上目でねだる嫁 (酔深=平尾) → 1票
ドキッとすると句ですね。可愛いお嫁さんが上目でねだるとは、羨ましい家族です。川柳子はその関係をねたんだのでしょうか、票が伸びませんでした。
24. 晴れ恋し傘傘傘の梅雨長っ尻 (安兵衛=山縣) → 0票
作者は下五「つゆながっちり」の字余りは承知で、リズムで詠みました。漸く梅雨明けしましたが、今度は毎日熱中症を警戒しなければなりません。注意すべきはコロナだけではありません。
25. 傘の内マスク美人が競い合う (だし=大野) → 2票
この句も「夜目遠目傘の内」からの発想ですね。マスクをつけると目を中心にした印象で決めるので、みんな美人に見えるのかも知れません。「競い合う」がよく効いていますね。
26. 穴だらけ骨も折れてる核の傘 (火酒=三春) → 5票
唯一の被爆国日本が「核兵器禁止条約」に賛同しないのはアメリカの「核の傘」を理由にしていますが、トランプ大統領による日米安全保障条約の基本を揺さぶる様々な発言に、日本は振り回されています。火酒さんは13番と同じく5票を得ましたが、優秀句は13番を選びました。
27. すわ豪雨傘など放ってそれ逃げろ (井波=稲宮) → 3票
ここ数年豪雨被害が目立っています。温暖化のせいでしょうか。線状降水帯も頻繁に聞くようになりました。早め早めの避難が第一です。

28. ビーチ傘こんがり焼いた美脚見せ (不言=岩崎) → 1票
湘南や千葉の海水浴場の情景が浮かび上がりますね。しかし、今年はコロナ禍で閉鎖しているところも多いようです。

投句 14 名 = 岩崎洋一郎 (不言)、大野ただし (だし)、曾山清徳 (酪帝)、
細谷博 (損得)、西川武彦 (酔雅)、浜田道雄 (我々好)、稲宮健一 (井波)、
山縣正靖 (安兵衛)、松谷隆 (零門)、安藤晃二 (晃二)、平尾富男 (酔深)、
塚田實 (拿々)、三春 (火酒)、八木信男 (明迷)

投票 13 名

8月以降の予定とお題：8月25日 (火) 「熟」
9月28日 (月) 「熟」
10月27日 (火) 「足・足る」
11月23日 (月) 「落」
12月22日 (火) 「氷」